

～ 超長期グランドデザイン(仮称)の策定について ～

超長期グランドデザインの目的

経済社会の大きな変化

- ・人口減少・高齢化社会の本格的到来
- ・地球環境問題の深刻化
- ・技術革新

国土づくりの課題

将来、どのような社会を実現していこうとしているのか、国民にわかりやすく問いかけ、共通認識を形成する必要がある。
そのための国民的論議を喚起する。

現状認識

我が国経済社会の将来に対する不安感・不透明感

「百年の大計」の視点に立った国土づくりの将来像を国民に提示する

成果(イメージ)

- ① 百年先を見通した国土づくりの将来像を提示する。
- ② テーマごとに、イメージ図などによる わかりやすい将来像を提示。
【テーマ例】…「国土づくりの枠組み転換の展望」「世界を惹きつける日本(国際機能都市のあり方)」「多様なライフスタイルの実現(アメニティの形成)」等

従来の枠を離れた進め方

- ・早急に大臣直属のワーキンググループ「超長期グランドデザイン・タスクフォース(仮称)」をテーマごとに設置。
- ・ワーキンググループのメンバーは、行政組織の枠を離れて、意欲・アイデアのある若手・中堅職員を省内で公募。
- ・省内外の自由なアイデアを吸収できるように、ITを活用した開かれた企画提案の投稿システムを創設。
- ・ワーキンググループへの支援及び検討にともなう庶務等は国土計画局が行う。